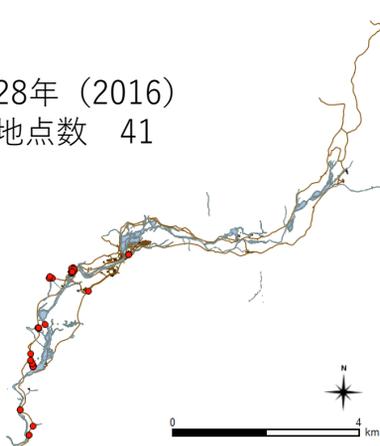


メマツヨイグサ

平成24年（2012）
確認地点数 125



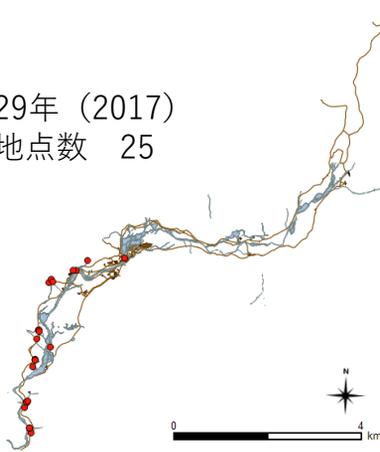
平成28年（2016）
確認地点数 41



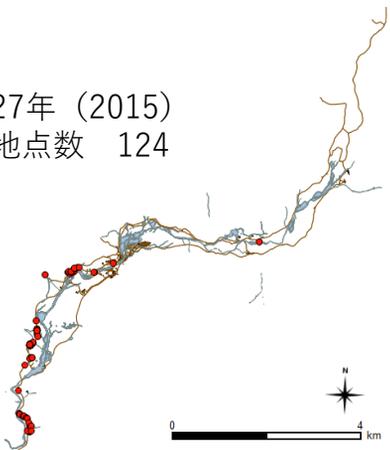
平成26年（2014）
確認地点数 28



平成29年（2017）
確認地点数 25



平成27年（2015）
確認地点数 124



平成30年（2018）
確認地点数 48



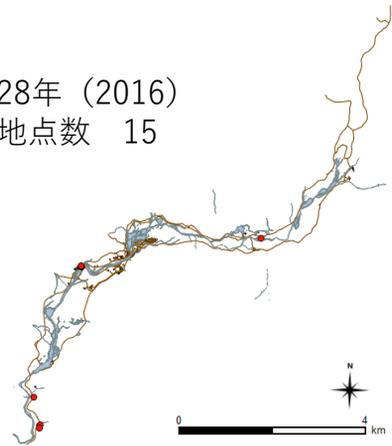
治山運搬路や明神地区周辺に多く分布していたが、平成26年度頃から集中的に除去したこともあり、縮小・低密度化している場所もある。
産屋沢では増加している。



ビロードモウズイカ

平成24年（2012）
調査なし

平成28年（2016）
確認地点数 15



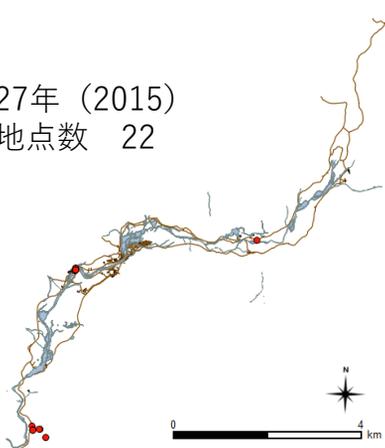
平成26年（2014）
確認地点数 7

平成29年（2017）
確認地点数 14



平成27年（2015）
確認地点数 22

平成30年（2018）
確認地点数 33



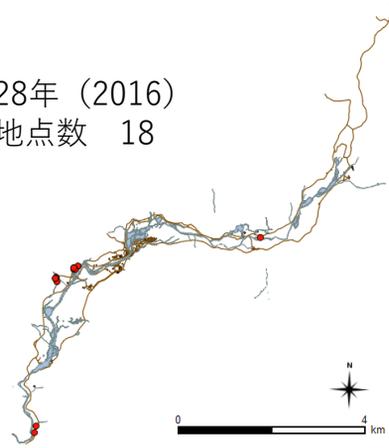
平成29年度に産屋沢付近の工事跡地で群生や広範囲分布が確認され、確認個体数が急増している。砂礫地やガレ場で生育しやすく、河川や山岳地域への侵入が懸念される。平成30年度にはホテル敷地内でも確認された。



ムシトリナデシコ

平成24年 (2012)
調査なし

平成28年 (2016)
確認地点数 18



平成26年 (2014)
確認地点数 9

平成29年 (2017)
確認地点数 18



平成27年 (2015)
確認地点数 9

平成30年 (2018)
確認地点数 8



確認地点数が徐々に増加している。工事箇所新たに発生している。花の色が目立ち群生するため、景観的にも影響が大きい。



フランスギク

平成24年 (2012)
調査なし

平成28年 (2016)
確認地点数 23



平成26年 (2014)
確認地点数 14

平成29年 (2017)
確認地点数 15



平成27年 (2015)
確認地点数 17

平成30年 (2018)
確認地点数 20



除去を行っているが、局所的に定着している。群落を形成しやすく上高地では景観的にも支障が大きい。他の国立公園や寒冷地では適応して大群落を形成している。

